

ときひがの子



困難に負けない強い心「常東魂」!

2月28日を最後に突然学校が休校になりました。そして、1月間以上も家庭学習を続けています。学校が始まり、みんなに会えるのが待ち遠しいですね。

さて、3月19日の「73回目の卒業式」は在校生の皆さんが出席できず、卒業生と保護者と先生方で行いました。私も初めての経験です。皆さんが心を込めて描いた「似顔絵」や「メッセージ」が廊下に展示され、その心は卒業生にも伝わり、一生の宝物になりました。ありがとうございました。

4月6日の始業式・入学式は、新しい学年のスタートです。1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生になります。5年生は最高学年の6年生として、学校行事・委員会・部活動、そして、創立120年記念式典の中心として活躍することになります。

5年生が中心となり、全校で心をこめて作った「常東ふるさとかるた」も3月31日に印刷完了の予定です（一般配付は120年式典前後）。

コロナウイルスは、すぐにはおさまりません。しかし、皆さんには、校訓「求めてはげむ」の精神や、校章{松葉二本を組み合わせ中に東を配している：暑さや寒さなどの困難に負けない強い心や健康な体}の意味を踏まえ、優しくたくましく育つことを願っています。

ところで、皆さん、「心ってどこにあるのでしょうか」？



心ってどこにあるのでしょうか？

これは、今年度の低学年向けの「課題図書」にありました。

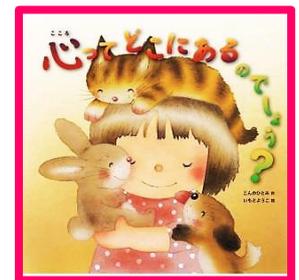
心は、「喜び」「悲しみ」「怒り」「楽しさ」「頑張る」「耐える」……いろいろな感情となってあらわれます。

皆さんは、「心」がどこにあると思いますか？

絵本では、「むね」（ドキドキするから）「ほっぺ」（好きな人に会うと顔が赤くなるから）「あたま」（いろいろ考えるから）……など、絵本を読みながら心がどこにあるか、いろいろと一緒に考えていく内容の本です。

作者の「こんのひとみ」さんは、岡崎の子供たちにこんな言葉で教えていただきました。「心は見ることも触れることもできません。香りもなく、音もたてません。ならば心というのは無いのでしょうか？いえいえあります。では『心』はどこにあるのでしょうか？」

「仕事に頑張る、子供が生まれ喜んでいたり、家族が事故にあって驚くとともに悲しくなる。しかし、医者の手術が成功して、家族の命が助かった喜び……。」などは、心がくるくる変わり、どこにあるのかうまく説明できません。作者は、この本を読めばわかると言っています。低学年の絵本ですが、内容として深く、命と同じように心についても考えさせられました。



運動場南斜面植栽「トキワヒガシ」(補修工事)完成

平成2年3月に運動場南側の斜面に「トキワヒガシ」の文字で茶の木植樹を行われました。

今年度、瑞宝双光章を受賞された鈴木 秋男校長先生の時に実施されました。

さらに、平成5年3月、杉浦正明校長先生の時に、キンメツゲで植え替えされました。

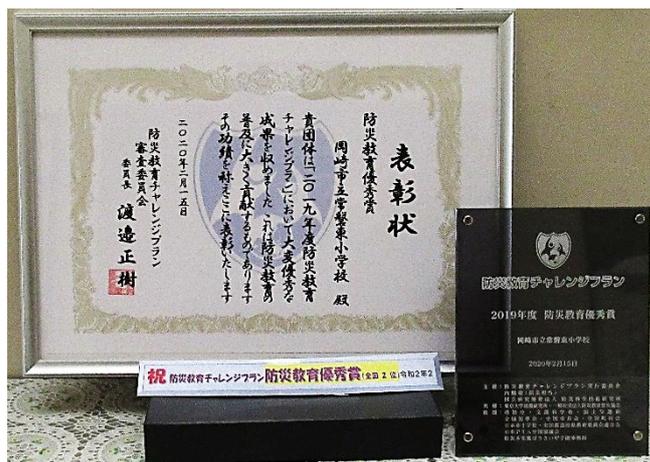


それから27年の歳月が過ぎて、名所「トキワヒガシ」の文字も木が一部枯れて文字がはっきりなくなっていました。このままいけば数年後にはさらに枯れてくると心配していました。次年度120年の航空写真を撮るにあたり、植栽をいつしたらよいか専門家に伺ったところ、「3月がよい」との判断でした。本校保護者で柴中造園を営んでいる中根康有さんに3月11日、12日に、約40本のキンメツゲを植え替えていただきました。

防災教育チャレンジプラン「防災教育優秀賞(全国2位)」の盾

2月15日(土)東京大学 地震研究所で、防災教育チャレンジプラン(主催:内閣府・防災科学技術研究所等)の報告会が開催されました。今回は、28団体の発表(2019年15団体、2020年13団体)があり、パソコンでのプレゼンテーション発表と別会場で「ポスターセッション」の発表・質疑応答もあり、**防災教育優秀賞(2位)**の成果を上げることができました。

その盾が、3月12日に届きました。卒業式にも賞状と一緒に展示することができました。



「きつねのうち」の絵の原本を寄贈

3月11日、上野篤子様(大山鐸氏の娘)が、学校に「きつねのうち」の原画6枚を寄贈されました。たまたま篤子さんが倉庫の片付けをされていたとき偶然発見されたそうです。おそらく原画を大山先生が保管をされていたようで、6枚の原画のうち、実際に本に使用されているのは25枚中の4枚ありました。62年前の絵とは思えないほど保存状況がよく、学校ではその絵を掲示し、120年式典にも披露したいと考えています。

この童話・画集「きつねのうち」は、1957年(S32)常磐東小学2年生で大山英二氏(現同窓会長)が文章を書き、同級生の29人で絵を描きました。本の編著者は教頭でもあり担任でもあった大山鐸(たく)先生でした。内容は、大変すばらしく教育界に影響を及ぼしました。きつねの家を建てるために、大工のとら、親類のぞう、左官のいぬ、建具屋のくま、手伝いのきりん、らくだ、おかみなどが登場して家を完成させる内容です。

